

こどもの育ちを考える学習会2026

8月8日(土) 13:00～『生きる』教育で変わる未来 学校を子どもたちの「心の安全基地」に
大阪市生野南小中学校(現田島南小中学校)教諭別所美佐子氏講演会

11月28日(土)「その関わり、大丈夫? — 子どもへの影響と予防・回復」

(～マルトリートメントと脳への影響)

福岡市南部療育センター小児科医 八坂知美氏講演会

体験活動など (こどもの未来応援基金などの助成による)

7月10日(金)15:30～16:30頃 江連麻紀さんとこども当事者研究会

「もやもやを研究してみませんか?」

7月17日(金)13:00～14:00頃「感じて★アフリカンリズム～たたこううたおう♪おどろう～」

8月25日(火)10:30～12:00「陶芸体験」～手びねりで自分の作品を作ってみよう

10月8日(木)10:00～16:00「まるもとであそぼう」

etc...今後もいろいろ企画予定です。詳細情報はHPをご覧ください

月に一回「大人の茶話会」を開催しています(8/26(水)は体験者によるお話しとQ&Aの予定です)



ご入会・ご寄付のお願い

皆様のご支援で運営ができています。ご協力どうぞよろしくお願いします。

【年会費】

正会員 :5,000円

賛助会員:2,000円

【寄付】

一口 1,000円～(個人)

一口 5,000円～(団体)

【郵便振替口座】

口座番号:01750-4-135011

加入者名:特定非営利活動法人いとしま児童クラブ

※「みんなの居場所」のご利用にあたって、入会の必要はありません。

※ ご寄付は随時受け付けております。

ご寄付をありがとうございました

新富商事さまより 120,000円

うどんのウエストさまより 300,000円

妙休寺さま、明勝寺さま、王栄寺さま、他個人様より 170,550円

石川県の個人さまより、アイロンビーズや・新品のタオル・お菓子

群馬県の個人さまよりアイロンビーズ・折り紙

むすびえさん企画で株式会社プレス・オルターナティブさまよりカレーの巻

東京モノレール株式会社さまより食器

餃子の王将さまよりお弁当(長期休み期間中)

【日頃から定期的に】

JA糸島女性部さまよりお野菜・粉もの・調味料など

フードバンク糸島ハビネス様より調味料など

高取食品様よりお豆腐など

富士食品さまより冷凍卵焼き

五洋食品さまより冷凍ケーキ

ミルクプラントさまよりヨーグルト

おきおやつクラブさま、龍国寺さまよりお菓子・果物・茶葉、お餅など

他個人様よりお米・お野菜・果物・お菓子など



新富商事さまより

ありがとう
ごさいます

特定非営利活動法人いとしま児童クラブ「みんなの居場所」

〒819-1128 福岡県糸島市篠原東一丁目23-32

TEL:092-332-0112 FAX:092-324-1701

E-mail:itosima.jidou.c@gmail.com

基本平日日中10時～17時
オープン・無料
(年末年始・お盆・
月に一度お休みあり)

HP



みんなの居場所 会報 Vol.8



2026年7月発行



ごあいさつ

理事長:江頭晶子

「こどもの居場所づくり指針」にそって推進!!

田植えが終わり、稲がぐんぐん大きくなっています。会員の皆さまにおかれましては、お元気でお過ごしのことと
います。

さて、通常総会に於いて、提案いたしました事業計画が承認されましたことを先ずはご報告致します。

「みんなの居場所」では、昨年度の来所者は延べ約5000人でした。居場所ではできるだけこども達の権利を
守り、一人一人が安心して過ごせる場にしたいとスタッフ一同研修を重ね、こども達を見守っています。

こども達を日々見守りながら「やってみたい」をできるだけ応援したいと思っています。こども家庭庁の調査では、
困難を抱えているこども達の約4割(約13万人)のこども達、一人一人の状況に応じた支援が届いていると言え
ないとしています。

「みんなの居場所」では様々な学びや体験活動を通して生き抜く力を得るための場になればと、今年度も様々な
活動計画を立てています。(参加は自由。マイペースで過ごすことも大事にしています。)

こども達の元気のパワーは日々全開になってきています。今年度も様々な角度から会員の皆さまからのご支援い
ただければ幸いです。

さいきんのあれこれ

こどもの未来応援国民運動



のじ〜さんとゆるっとしぜん探検隊 居場所の庭で 公園で



篠原公園・笹山公園へ



ヤドンとからだあそび 体育館へ!



ボルシチを食べてウクライナの文化を知ろう

こどもの育ちを考える学習会第1回2026 一人ひとり合った学びとその環境づくり～合理的配慮とは？～ NPO法人ゆめふうせん理事長 平岡安美氏講演会



5/31(日)、放課後等デイサービス、フリースクール、ハイスクールなど
様々な活動を展開されている
NPO法人ゆめふうせん理事長の平岡安美さんをお招きして、
どのように、一人ひとりに合った学びと環境づくり、
「合理的配慮(調整)」を実践されているのか、
お話をお聴きしました。

子どもはおとなと違い、成長過程にある。
環境そのものの中で育つ。意味の深い言葉。
「どっち向いて支援してんの？」
平岡が尊敬する方はたくさんいてくださる。
その中で特に、一瞬で「そうなんよ！」と、
気づかせてくださった方の言葉です。
本人がやってほしいということを支える
そのための環境を整える
それがゆめふうせんでの支援

週一の研修を固定化し、支援の共有一貫性をおこなう。
ブレない。全てのスタッフさんが、
おめめどう@ツールを使う。実践する。
フォーマットがあるから誰でもできる。
「スタッフファースト」は、
スタッフさんがその人らしく安心して働ける場所・空間ということ。
其々の強みがある。強みを生かす。
すると、自然と一人ひとりの活躍の場があり、
生き生きと仕事ができる。
弱み・悩みも出し、できる人ができることをする。
こうするといよいよ、伝える。
大事にされている歓迎されていることがわかる
関係作りをする。
その環境の中で育つ子どもも、
安心して生き生きと育っていく。
嫌なことは嫌と、拒否の発信もできるようになる。
ストレスフリーな環境の中で
その子らしく日々の暮らしをしていくことができます。
日常の中で、私たちは情報の8割以上を視覚から得ている
発達特性のある人は更に視覚優位で
一度にたくさんの情報が耳から入っても
気になる言葉しか残らない
だから、視覚的に、具体的に、肯定的に、構造化して支援する
その中で、こどもは
「自分のことは自分で選ぶ」
「自分のことは自分で決める」
こどもの権利条約第12条が大切にされています



ゆめふうせんの基本的支援

支援者
・**視覚的** (音声言語は使わないで 書いて知らせる)
・**具体的** (こそあどは使わないで イメージできる言葉で)
・**肯定的** (こうするといよいよ XではなくOで)
・**構造化** (物理的・時間的に分けて)

こども
・**自己選択** (自分のことは自分で選ぶ)
・**自己決定** (自分のことは自分で決める)

2015年、障害者差別解消法 厚労省が2015年に、
2016年、文科省より合理的配慮の具体例として提言

個々のニーズに合わせて環境を調整していく
「合理的配慮(調整)」により
安心して過ごされている
ゆめふうせんのこども達のエピソードを
たくさんご紹介いただきました
そしてこれらの「視覚的支援」により、
スタッフさんも分かりやすい環境の中、
安心して働くことができると
限られた時間の中、質問にも丁寧に答えていただき、
明日からの私たちの活動に取り入れられるヒントも
いっぱいいただきました！
平岡さん、参加して下さい下さった皆さま、
充実した時間を一緒に作っていただき
本当にありがとうございました♡

おわりに
**子どもが安心して暮らせる環境を
暮らし支援(手だて)をしていけば、
誰もが孤立せず、自然に受け入れられる
インクルーシブな
組織・学校・地域になっていく**

子どもや障害があると、トレーニング、トレーニング、克服、克服の連続を大人
がさがさ 指示待ちやストレスで2次障害を発生するリスクがある 子ども
は大人の所有物ではない 一人の人として尊重される権利がある 自分で選
ぶ権利がある(子どもの権利条約)
安心して暮らせる環境を整えれば、子どもは自然と自分から動き出す
学び、考え、出会い、自立していく力を持っている 幸せになる力を持っています
ご縁ありがとうございました

みんなのダイアリー ～今回はMUKAさんと居場所でのひとこま



MUKAであそぼう 広い敷地 木々 裏山
ポニーのギンガさん あたたかい見守り こども達は大好き♡



雨が降り出して…
喜んで鬼ごっこを始める
お弁当持って山に登る
こどもたちは
無敵にチャレンジ
ちょっと寒くなって火おこし
なんでも楽しんじゃう

みんなの居場所 4月 魔女修行中！



段ボールで基地づくり

クレープやさん！

占いやさん出現！(あやしくないよ)

ゆきひろさん来られる！
節分手巻き寿司パーティー

こどもたち・保護者・利用者みなさまの声

・「初めて馬に乗った！」「ギンガ君大好き」「木登り、べっこう飴づくりが楽しい」「山登り、マジで地獄だったけど楽しかった」
・「みんなと会える、だれかと会えるから来てる」「ハンモック・ブランコがいい」「木を切ったり、削って割とか好きに作れるのがいい」
・からだを動かすことができると嬉しいようで、お迎えの時の顔が違います。・人と関わることでできる大切な場所です。
・異年齢の交流が得られる学びや遊びを通した自然な学びがいつも盛り込まれていて毎日が感謝でいっぱいです。
学校ではできなかった自己主張ができるようになり、お友達と本気でけんかして仲直りする経験までできるようになりました。子どもたちが自分たちで生
み出す遊びや、スタッフの方が企画して下さる各種イベント、思い切り体を動かせる公園への外出、毎週金曜日のからだ遊びなどなどを通して、息子が
すっかり元気なただけでなく、どれほど学びの多い日々を過ごさせていただいているか、息子もあのまま家に閉じこもり続けていたら、これほど緩やかな
成長はなかったと思います。
・従来の学び方・育て方の枠にはおさまらせない、豊かな個性と可能性にあふれた子どもたちが集っています。そういった子どもたちが安心して遊べる場所。
・こどもの中でゆっくり育ち、これからの人生を支えていくんだらうなあ、と感じています。